

(参考様式5)

平成20年度元気な地域づくり計画目標達成状況報告書

都道府県名	市町村名	地区名	計画期間	事業期間
三重県	伊賀市	小杉	H17~H19	H17

1 施策ごとの評価

(1)ソフト

ア 施策の内容:

イ 施策の実績

(コメント)

ウ 施策の効果

(コメント)

※ 施策の内容ごと、事業実施主体ごとに記載すること。

(2)ハード

ア 施策の内容: 農業生産の基盤の整備

イ 施策等の実績

(ア)実施計画達成状況

(以下の様式を参考にして記述する。なお、事項欄には、地域計画に掲げた指標を設定するに当たり、施設等の種類ごとに実施計画を設定している場合、また、地域計画に掲げた指標以外に数値目標がある場合、それらを記述すること。)

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
基盤整備促進	農業生産施設整備	農道	伊賀市	伊賀市
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
L=4.5km	H17	H17	H18.4.1	

事項	単位	計画時 (16年度)	目標値 (19年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率(%) B/A	
農業用排水施設等の機能確保	ha	0	24.7	24.7	100	

調査年次における実績が計画未達である場合の理由及び改善策(目標年度の報告において達成状況が著しく低い場合は、要領の第5の4の(1)に基づき作成した改善計画及び指導等の状況について添付して報告すること。)

(イ)施設等の利用実績

施設等名( )

年次	室名	事項	計画	月別利用実績												利用率	
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		計
		利用人数															
		利用日数															
		延べ利用室数															

- (注) 1 事項欄には、地域計画とともに作成した利用計画において使用した指標を記述する。  
 2 調査年度における実績が計画未済である場合は、下段に理由及び改善策について記述すること。  
 3 目標年度の報告において実績が計画を大幅に下回る場合は、第5の4の(1)に基づき作成した改善計画及び指導等の状況について添付して報告すること。  
 4 備考欄には、利用計画、利用実績それぞれの算出根拠を記載すること。  
 5 都市農村交流を目的とする施設の場合は、「月別利用実績」欄の実績計の横に( )書きで都市農村交流に関する実績を内数で記入し、利用率の算出は( )書きの値を使用する。

ウ 施策の効果

(コメント)  
 農業用排水施設等の整備により農道機能の確保が図られた。また、農業経営における農道の維持管理費・走行経費の軽減が図られた。

※ 施策の内容ごと、事業実施主体ごとに記載すること。

2 指標の達成状況に関する評価

	指標	目標値A	実績B	B/A	備考
必須	農業用排水施設等の機能確保	24.7ha	24.7ha	100%	
地域	水田畑利用の推進	1.0ha	0.4ha	40%	

(コメント) ※目標が未達成となった指標については、その理由を記載  
 作付面積の増加を図るため営農指導を行ったが、消費拡大が見込めなかったため目標面積に達しなかった

3 目標の達成状況に関する評価

(コメント)  
 農業用排水施設等の整備の結果、農地面積24.7haにおいて農道機能の確保が確保され、維持管理経費・走行経費の節減を図ることが出来た。  
 しかし、水田畑利用の目標である作物の作付け目標は達成できず、今後営農指導を強化する必要がある

#### 4 総合評価

(コメント)

当地区については、過疎化、高齢化が進んでおり、農業経営者の減少及び営農維持管理に苦慮する状況であったが、農道舗装を行うことにより農道機能の確保が図られた。更には農道の補修等維持管理経費の節減が図られ担い手への集約も期待できる。しかし、水田畑利用の推進のためのモロヘイヤ作付けについては目標を達成できていないため、今後営農指導の強化を図る必要がある。

#### (都道府県の意見)

(コメント)

農業経営者の高齢化及び減少が危惧される中、農道が整備された結果、維持管理経費の軽減及び走行経費の節減が図られた。このことから、本計画は小杉地区の活性化に寄与したものであり、今後、担い手への農地集約にも期待ができるものである。しかし、水田畑利用の推進のためのモロヘイヤ作付けについては、目標値を大きく下回り40%の達成率であるため、引き続き営農指導の強化を図り目標を達成させる必要がある。